



なくせ公害・ 守ろう地球環境

要請趣旨

全国公害被害者総行動は「公害の根絶と平和を求めて」を合言葉に1976年以来、全国の公害被害者によって取り組まれてきました。イタイタイ病、水俣病、大気汚染公害、薬害などで多くの成果を勝ち取り公害行政の前進に少なからず貢献してきました。2021年12月にはアスベストによる健康被害の救済制度を国との間で実現をさせました。



一)建設アスベスト訴訟は21年5月最高裁が1人親方を含む国と建材メーカーの責任を確定させました。裁判を経ることなく被害を救済する補償基金制度に建材メーカーの参加は不可欠です。

二)PM2.5などの大気汚染は依然続いており、水俣病、カネミ油症の被害は今も解決されていません。

三)福島原発事故は、多くの人々に甚大な被害を与えました。原発訴訟は地裁・高裁の24判決全てで国・東電の賠償責任を認定しています。24判決のうち国を被告にした21判決(地裁17、高裁4)では、12判決(地裁9、高裁3)が国の責任を断罪しています。

四)地球温暖化は環境を激変させ、人類の生存をも脅かすものとなっています。菅内閣は2050年までに温室効果ガス排出を実質ゼロにすると公約しました。再生可能エネルギー100%に大転換するときです。戦争は最大の「環境破壊」であり、公害の根絶と平和を希求する公害被害者は、「なくせ公害・守ろう地球環境」の実現のために、国のいっそうの努力を求めます。

実行委員会参加団体

- ・イタイタイ病対策協議会・財神通川
- ・流域カドミウム被害団体連絡協議会
- ・安中緑の大地を守る会
- ・水俣病被害者の会全国連絡会
- ・水俣病被害者の会
- ・新潟水俣病被害者の会
- ・ノーモア・ミナマタ被害者・弁護士
- ・全国連絡会議
- ・水俣病不知火患者会
- ・新潟水俣病阿賀野患者会
- ・東京公害患者と家族の会
- ・川崎公害病患者と家族の会
- ・横浜市公害患者と家族の会
- ・南区公害病患者と家族の会
- ・四日市公害患者と家族の会
- ・大阪公害患者の会連合会
- ・神戸公害患者と家族の会
- ・倉敷公害患者と家族の会
- ・北九州市公害患者と家族の会
- ・千葉あおぞら連絡会
- ・泉南アスベストの会(旧泉南アスベスト国賠訴訟原告団)
- ・首都圏建設アスベスト訴訟統一本部
- ・大阪建設アスベスト訴訟原告団
- ・京都建設アスベスト訴訟原告団
- ・九州建設アスベスト訴訟原告団・弁護士
- ・瀬戸内の環境を守る連絡会
- ・よみがえれ！有明訴訟原告・弁護士
- ・川辺川利水訴訟原告団
- ・全国水害被災者連絡会
- ・道路住民運動全国連絡会
- ・エモンの会全国連絡協議会
- ・薬害ヤブ病被害者・弁護士全国連絡会議
- ・薬害イレンサ訴訟原告団・弁護士
- ・第3次新横田基地公害訴訟原告団・弁護士
- ・第四次嘉手納基地爆音差止訴訟原告団
- ・名古屋新幹線公害訴訟団
- ・カネミ・油症被害者全国連絡会
- ・生業を返せ、地域を返せ！
- ・福島原発訴訟原告団・弁護士
- ・原発事故の完全賠償をせよ
- ・元の生活をかえせ・原発事故被害いわき市民訴訟原告団・弁護士
- ・ふるさとを返せ・福島原発避難者訴訟原告団・弁護士
- ・福島原発事故津島被害者原告団・弁護士
- ・福島原発被害東京訴訟原告団
- ・原発賠償関西訴訟原告団・弁護士
- ・だまつちやおれん原発事故人権侵害訴訟・愛知岐阜原告団
- ・福島原発かながわ訴訟原告団
- ・原発賠償訴訟・京都原告団
- ・化学兵器被害解決ネットワーク
- ・公害・地球環境問題懇談会
- ・全国公害弁護士連絡会議